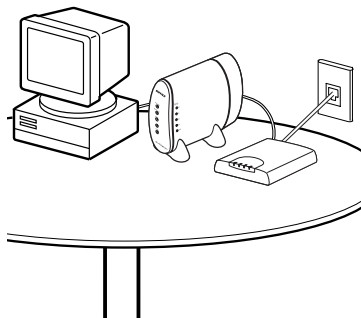
3

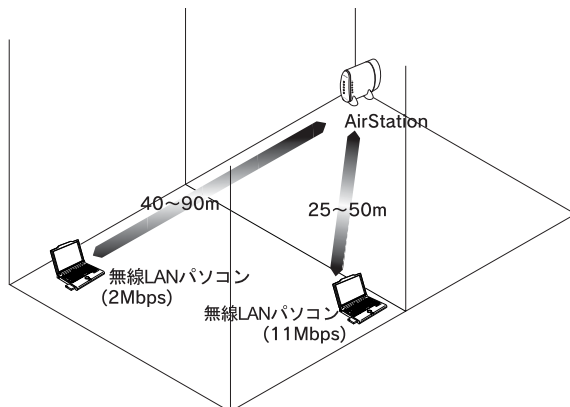
AirStation を設置します

AirStation の設置場所と、各機器の接続方法を説明します。

作業が終了したら、同梱されている「らくらく！セットアップシート」にチェックを付けてください。

AirStation を設置します

AirStation を設置します。以下をご覧になり、お使いの環境に合った場所に設置してください。

通信距離と設置場所について

最長で屋内 115m・屋外 550m(見通し) まで通信できます。
通常の通信距離は、以下の図の通りです。
通信距離は環境により影響されます。

	11Mbps 通信時	2Mbps 通信時
障害物の少ない屋内	50m（見通し）	90m（見通し）
障害物の多い屋内	25m（見通し）	40m（見通し）
屋外	160m（見通し）	400m（見通し）

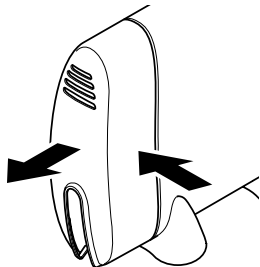
- スチール机やスチール棚など金属製の物の近くや、電子レンジ、無線プリンタバッファの近くへは置かないでください。
  これらのものは電波の障害になります。
- 遮断物の材質によっては、通信距離が短くなったり遅くなったりすることがあります。
  また、通信ができなくなることもあります。

- はじめて AirStation を設定する場合、設定に使うパソコンは、AirStation の近くに置いてください。設定後は、設置場所を移動できます。
- AirStation を移動する場合、AirStation の電源をオフにしても、設定内容は保持されます。

外部アンテナの設置

AirStation を設置して通信したときに、電波が届きにくい場合は、弊社製外部アンテナ、WLE-DA/WLE-NDR（別売）等を取り付けてください。

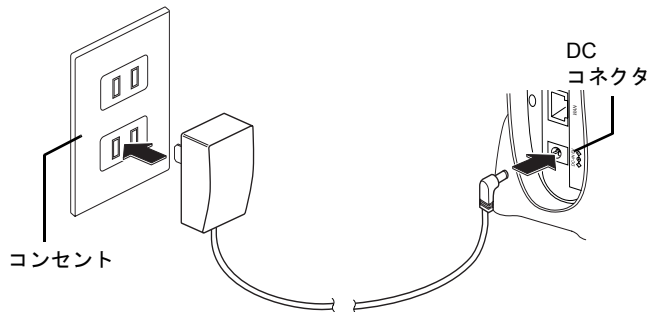
AirStation と各機器を接続します

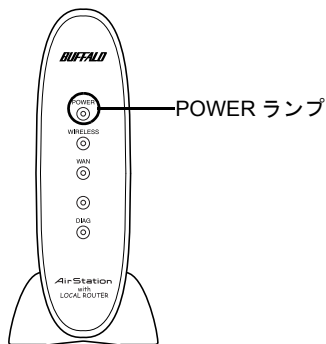
AirStation と各機器を接続します。
まず、AirStaion の背面カバーを、中央を軽く押さえて外します。

背面カバーを外したら、記載順に各機器を接続してください。

AC アダプタ

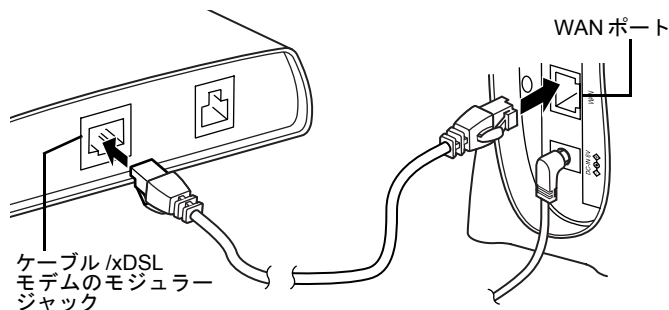
⚠ 必ず、本製品に同梱されている AC アダプタをお使いください。

1. 本製品に付属の AC アダプタを、AirStation の DC コネクタに差し込みます。

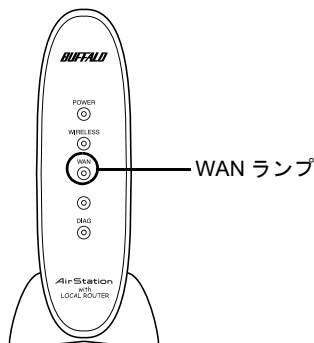
AC アダプタのもう一方は、コンセントに差し込みます。

2. AirStation のランプを見て、AC アダプタが正しく接続されていることを確認します。

POWER ランプが緑色で点灯していることを確認します。
DIAG ランプが消灯していることを確認します。

ケーブルモデム /xDSL モデム

1. AirStationに付属のUTPストレートケーブルを、AirStation の WAN ポートに接続します。

AirStation に付属の UTP ストレートケーブルをお使いください。
UTP ストレートケーブルのもう一方は、ケーブル / xDSL モデムに接続します。

一部のケーブルモデム /xDSL モデムによっては、クロスケーブルで接続する場合があります。
パソコンとケーブルモデム /xDSL モデム間をクロスケーブルで接続する場合は、AirStation とケーブルモデム / xDSL モデム間もクロスケーブルで接続してください。

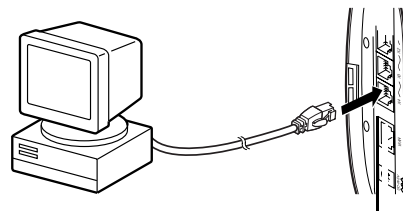
2. AirStation の WAN ランプを見て、CATV/xDSL 回線と正しく接続されていることを確認します。

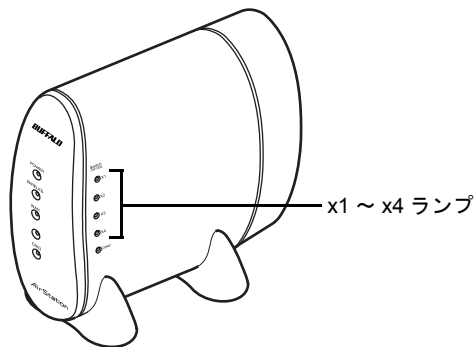
緑色で点灯していることを確認します。

パソコン（ケーブル接続）

AirStationとパソコンをケーブルで接続する場合にのみ、お読みください。
パソコンとの接続に使うケーブルには、以下の制限があります。

100BASE-TX	カテゴリ*a 5 対応のストレートケーブル 最長 100m まで
10BASE-T	カテゴリ 3 以上対応のストレートケーブル 最長 100m まで

*a. ケーブルの品質を表す。カテゴリ 3 よりもカテゴリ 5 の方が高速で伝送できる。

1. パソコンのLANボードに接続したLANケーブルのもう一方を、AirStation の 10M/100M LAN ポートに接続します。

2. AirStation側面のx1～x4ランプを見て、パソコンとの接続を確認します。

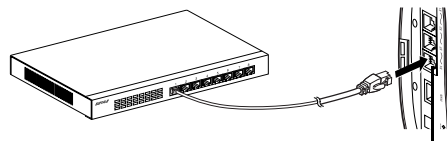
緑色で点灯している場合、正常に接続されています。

ハブ（ケーブル接続）

AirStation とハブ*1 をケーブルで接続する場合にお読みください。

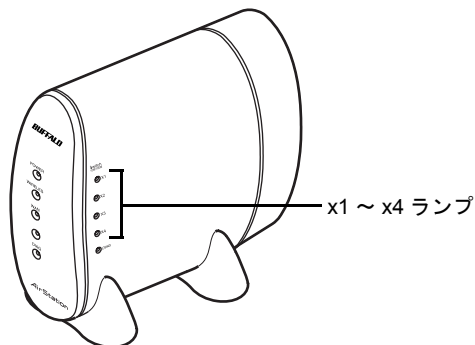
 接続には、いくつかの制限があります。接続の前に、以下のページをご覧ください。

 「接続時の注意」52 ページ
「使用できるケーブル」53 ページ

ケーブルの接続

1. ハブに接続した LAN ケーブルのもう一方を、AirStation の 10M/100M LAN ポートに接続します。

*1. 集線装置ともいう。ハブを中心にして複数の機器を接続し、ネットワークを構築する。

2. AirStation側面のx1～x4ランプを見て、ハブとの接続を確認します。

緑色で点灯している場合、正常に接続されています。

接続時の注意

AirStation は、10M/100M に対応した 4 ポートスイッチングハブを内蔵しているため、無線 LAN と有線 LAN でインターネットの共用やファイルの共有などをすることができます。
なお、AirStation にはカスケードポートはありません。

- ケーブル接続のパソコンが 4 台以内の場合は、パソコンを AirStation の 10M/100M ポートに直接接続します。
- ケーブル接続のパソコンが 5 台以上の場合は、市販のハブを AirStation に接続して、パソコンをハブに接続します。

カスケード接続の例

- AirStation にリピータハブ[*1]やデュアルスピードハブ[*2]を接続する場合は、規格上、次の表のような制限があります。
  これらの制限を超えて接続すると、ネットワークが正しくつながらないことがあります。

	100BASE-TX	10BASE-T
カスケード接続[*a]の段数	2 段まで	4 段まで
カスケード接続時のケーブルの総延長距離	205m 以内	500m 以内

*a.ハブ同士をケーブルで接続すること。

- スイッチングハブ[*3]を使うと、上記の制限を超えたハブの追加や距離の延長ができます。
  たとえば、10BASE-T のリピータハブで 4 段のカスケード接続をしている場合、スイッチングハブを使うと、リピータハブをさらに 4 段カスケードできます。

*1. 一般的なタイプのハブ。
*2. 2 種類の転送速度（10Mbps と 100Mbps など）に対応したハブ。
*3. スイッチング機能が追加されたハブ。通信に必要なポート同士が 1 対 1 でデータのやり取りを行うため、ネットワークが効率よく使用できる。

使用できるケーブル

ハブとの接続に使うケーブルには、以下の制限があります。

100BASE-TX	カテゴリ[*a] 5 対応のクロスケーブル 最長 100m まで
10BASE-T	カテゴリ 3 以上対応のクロスケーブル 最長 100m まで

*a. ケーブルの品質を表す。カテゴリ 3 よりもカテゴリ 5 の方が高速で伝送できる。

ハブ側でカスケードポートに接続する場合は、ストレートケーブルが使えます。
カスケードポートの有無は、お使いのハブのマニュアルで確認してください。
（AirStation にはカスケードポートはありません）